

「1970年、万博とウーマンリブから」

2025年の大阪万博開催が決まりました。かつて1970年に開催された年に日本で初めてウーマンリブ大会が開催されたことをご存知でしょうか。

「ウーマンリブ」のイメージはあまりよくないかもしれません。しかし、本来の意味は、「Women's Liberation=女性の解放」で、男性の視点や価値観を基準とした社会のあり方に疑問を感じ、女性自身の手で女性を解放しようという、今から考えれば当たり前の運動だったのです。

こうした動きが世界的に広がり、国連は1975年を「国際婦人年」と定め、第1回世界女性会議がメキシコシティで開催されました。

「女性には固有の問題がある。平等・開発・平和の課題のもとで、女性同士で話し合ってみよう」という国連の呼びかけで、150余国から1万3千人以上が参加。史上最大の会議となりました。

この年に話題になったインスタントラーメンのCM「ワタシ 作る人、ボク 食べる人」をご記憶の方も多いと思います。「性別役割分業の固定化」につながると放映中止になるなど、国際婦人年をきっかけとして、様々な活動が展開されていました。

1980年代には、男女の雇用の平等法を成立させようとする動きも活発になり、その一つのアピール行動として、クリスマスイブに東京都内で労働省までのマラソン「イブ・リブ・リレー」が行われました。

その様子を収めたドキュメンタリー映画をみましたが、林陽子弁護士（国連女性差別撤廃委員会（CEDAW）前委員長）も含めた大勢の女性たちが、懸命にかつ生き生きと笑顔で走っており、こうしてバトンがつながってきたのだと熱い想いが伝わってきました。

そして現在、女性の基本的人権が守られる時代になったのでしょうか。残念ながら否です。2018年のノーベル平和賞が紛争下の性暴力の根絶に向け尽力した婦人科医のデニ・ムクワゲさんと、性暴力の実態を証言したナディア・ムラド・バセ・タハさんに決まったのは、象徴的な出来事でした。

2025年万博のテーマは、「命輝く未来社会のデザイン」。女性の基本的人権を含めて、誰もの命が輝くようにダイバーシティの視点を盛り込んで、未来社会に相応しいデザインをしていきたいものです。

一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会
企画調整課長 沢田 薫

大阪市地域女性団体協議会会員のみなさまへ

**これからも皆様にお喜びいただける旅の創造につとめます。
ご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。**



宮川敏明



山口明久

**近畿日本ツーリスト**

株式会社近畿日本ツーリスト関西 大阪法人旅行支店
556-0017
大阪市浪速区湊町1-4-38 近鉄新難波ビル6階
電話：06-4397-8778 FAX：06-4397-8779

夕陽丘基金は今年、3月に設立15周年を迎えます

夕陽丘基金へのご協力、いつもありがとうございます！

平成29年度には夕陽丘募金への寄付総額 1,024,670円のうち、各区女性会から「夕陽丘募金」として、合計29件 437,913円のご寄付をいただきました。

夕陽丘基金は… (活用例)・保護命令の申請に要する費用 (切手代、収入印紙など)

- 一緒に連れてきた赤ちゃんや幼児の着替え、おむつなど育児用品の購入費用
- 仕事や家庭を探す時の交通費、ケガや病気の治療費 などに使われています。

平成29年度の実績

- 緊急一次保護施設入所のDV被害当事者への資金貸付 30件 268,640円 (生活費 70,500円、交通費 35,680円、医療費27,500円、各種手続き 134,960円)
- 緊急一次保護施設対象の助成金の交付 6施設 総額600,000円

これからも夕陽丘募金を通じたご支援をよろしくお願いします！

大阪市女性会だより**～地域で輝く女性会～**

2019



vol. 4

**新年 明けまして
おめでとうございます**



**大阪市地域女性団体協議会設立70周年の年
皆で力を合わせて前進していきましょう！**



親睦旅行で見た富士山

健やかに新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年は役員改選が行われ、新たな執行体制で臨んだ一年でしたが、各区理事の皆さんと会員お一人おひとりに支えられ、あらためて市女性会の結束力に感動する年でありました。

一年間の皆様のご努力に心から感謝いたします。

また、昨年11月には、地域での誘致活動に協力、応援してきた2025年万博の開催地が大阪に決定しました。6年後の大阪万博の開催に向け、私たちも地域を支える女性団体の一員として、大阪万博を盛り上げていきたいと思います。

今年は市女性会にとって設立70周年の節目の年にあたります。市女性会の70年にわたる活動は、地域の皆さんと歴代女性会会長、役員の皆さん方がそれぞれの時に共に手を取り合い、今日まで活動を続けてきました成果であると思います。

この70年の間に私たちの先輩諸姉が活動してきたことによって、女性の教養や生活、そして地位は格段に向上を果たし、私たちのめざす男女共同参画社会の実現に向けた取り組みが、一步一步であります。確かな実を結んできていると感じております。

平成30年度 市女性会の主な活動

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 5月 | 定例総会 |
| | 「ごみゼロの日」市内一斉清掃 |
| 6月 | 男女共同参画週間啓発キャンペーン |
| 8月 | 「大阪市ワーク・ライフ・バランス推進月間」事業 |
| 9月 | 全国一斉復十字シール運動街頭キャンペーン |
| 9～11月 | 市女性会会員親睦旅行 |
| 10～11月 | クレオ大阪フェスタ バザー |

- | | |
|------------|--|
| 11月 | 「女性に対する暴力をなくす運動」講演会
「女性に対する暴力をなくす運動」啓発キャンペーン
大阪マラソン クリーンUP作戦 |
| 1月 | 新年互礼会
各区「成人の日記念のつどい」でのDV防止啓発 |
| 2月 | 「北方領土の日」祈念大阪府民大会
区女性学習会 |
| 3月 | 女性学習研究大会 |

大阪市地域女性団体協議会
会長 矢田貝 喜佐枝



しかし、ドメスティック・バイオレンスの問題など女性にとって解決しなければならない課題はまだまだ多くあります。平成16年に「夕陽丘募金」の活動を始めてから早や15年になりましたが、今後もより一層暴力に苦しむ女性への支援の取り組みを進めてまいりたいと考えております。

時代とともに、地域のありようや女性会の役割も変化するなか、次世代にとって住みよい環境を残すため、地域における諸問題に対し、地道にこつこつと取り組めることが私たちの強みであり、誇りであると確信しています。

市女性会にとって節目となるこの年を機にあらためて女性会活動の原点に立ち戻り、大阪の元気のために女性会として、男女共同参画社会の実現をめざし、互いに手を取り合って進んでまいりたいと思いますので、皆様方の一層のご協力をお願い申しあげます。

大阪市女性大会を開催しました

平成30年7月27日（金）、クレオ大阪中央ホールで大阪市女性大会を開催しました。各単位から会員7名ずつが参加し、「大会決議」として、地域に生きる女性の立場から「学習」と「実践」活動に取り組み、男女共同参画社会の実現に寄与していくことを確認しました。

当日は、吉村大阪市長をはじめ、市会議員や大阪市関係者など、多くのご来賓の皆様にもご臨席を賜り、お祝いの言葉や温かいメッセージをいただきました。



第2部のコンサートでは、空風楽団の皆さんにお越しいただき、楽しいジャズとヴォーカルの調べに、会員一同、ゆったりとした爽やかなひとときを過ごしました。



「大阪市ワーク・ライフ・バランス推進月間」の取組み

市女性会は「大阪市きらめき応援会議」の構成団体として、毎年8月の「大阪市ワーク・ライフ・バランス推進月間」に協力しています。今年も、男女がともに「仕事」「生活」を両立できる男女共同参画社会の実現をめざし、各区の夏のイベントでチラシ8000部を配布して啓発活動を行いました。



秋の親睦旅行「富士山を見に行こう」



今年の秋の親睦旅行は、近畿日本ツーリストさんの企画で「ふじのくに茶の都ミュージアム」や「富士山世界遺産センター」などを巡る富士山づくしの2日間の旅で、9月から11月にかけ、各区から総勢1,085人が参加しました。駿河湾に面した焼津黒潮温泉の旅館では焼津港からあがる海の幸を堪能し、会員同士の親睦と交流を深めながら楽しいひと時を過ごしました。折好く、雲や霧の合間から雄大な富士山を望む瞬間に巡りあえた日もありました。

夕陽丘バザー

今年も10月～11月にかけてクレオ大阪各館で開催されたフェスタに参加し、石鹼・タオル・日用品などを販売し、売上金の一部を夕陽丘基金に寄付しました。



結核予防のための複十字シール運動

女性会では、昭和60年から世界中の結核を撲滅をめざす結核予防複十字シール運動に取り組み、平成18年度からは結核のおそろしさをアピールするための全国一斉複十字シール運動街頭キャンペーンに協力しています。今年は9月28日（金）に天王寺駅コンコース内で、結核予防パンフレットや啓発グッズを配布し、基金への協力と結核予防推進を呼びかけました。



夕陽丘基金から感謝状をいただきました

「夕陽丘基金」は今年3月、設立15周年を迎えられます。市女性会は、平成16年の「夕陽丘基金」の設立にあたり、その設立の趣旨に賛同し、設立発起人の一員として参加し、基金の代表に市女性会の会長が就任させていただいている。 「夕陽丘基金」の設立以来、DV被害者やその子どもたちの自立を支援するために、各区女性会が中心となって、地道な「夕陽丘募金」の活動に取り組んできました。

11月18日（日）、クレオ大阪中央フェスタと同時開催の「夕陽丘基金 設立15周年記念シンポジウム」の場で、長年にわたり基金の活動に協力してきたことに対し感謝の意を表し、夕陽丘基金代表の矢田貝会長から市女性会に感謝状が贈呈されました。



大阪マラソンクリーンUP作戦の清掃活動

市女性会では、大阪マラソンに来られる皆さんを「美しい街」でお迎えするため、毎年、大阪マラソンクリーンUP作戦に参加しています。

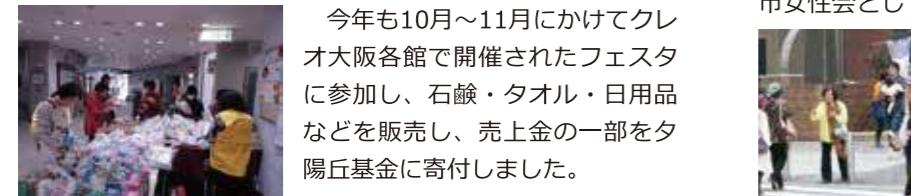
今年も11月19日（月）、中之島、難波、京セラドームの3カ所に分かれて清掃活動に取り組みました。



「女性に対する暴力をなくす運動」啓発キャンペーン

国では、11月12日から25日までを「女性に対する暴力をなくす運動」として、さまざまな取り組みを行なっています。これに合わせて大阪市が開催する啓発キャンペーンに、市女性会として協力して啓発活動に取り組んでいます。今年

は梅田のHEP NAVIO周辺で、DV防止のための街頭キャンペーンに参加しました。 絆創膏を2つ配って1つは誰かにプレゼントしていただくことで、DV防止の意識の輪を広げていく取り組みです。



大阪市女性会のあゆみ ~70年の振り返り~ 第2回

昭和37年10月から平成26年4月まで毎月発行していた「女性大阪」（当初「婦人大阪」）の昭和45年（1970年）4月8日発行の第91号です。

この年3月15日に開幕した「日本万国博覧会」（EXPO'70）のお祭り広場で、3月31日に披露された大阪市婦人団体協議会（当時）の皆さんによる民踊の様子を紹介したものです。

1970年の「日本万国博覧会」は、「人類の進歩と調和」をテーマに、77か国が参加し、9月13日までの183日間、6,422万人の来場者で賑わいました。

「月の石」の展示には長蛇の列が並び、各国、企業のパビリオンに目を見張りました。今でこそ当たり前になったワイヤレスフォン、温水洗浄便座、缶コーヒー、ファーストフード店などがこの博覧会で初めて登場しています。

紙面では「世界の広場での軽快なメロディに乗って市婦協538人の踊り手たちがお手並み、足並みを披露する。その楽しい輪に、観客席から下りた人たちがその中にー。大きな外国人の姿も見える。」

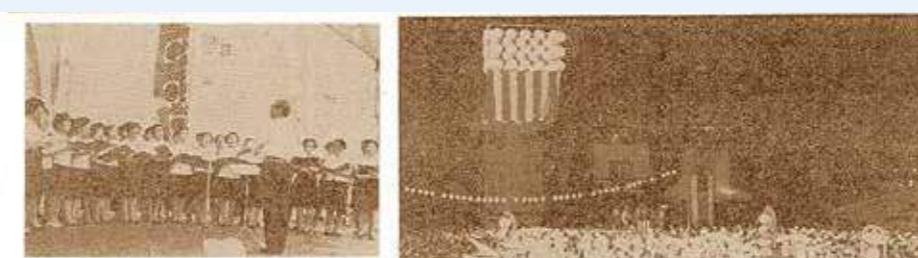
「ことばは通じないが、手拍子、足拍子は見事にそろって、これほど素晴らしい“人類の調和”的なすがたがあろうか。」「客席から出演した母を、姉を、あるいは妻を激励する家族の拍手の音がひとり



わ高い。」など、紹介されています。

前年（昭和44年）に発足20周年を迎えていた市女性会（当時の市婦協）が、学習活動と並んで取り組まれていたレクリエーション活動の研鑽・発表の場として参加され、約8,000人の観衆の中で民踊を披露されました。

女性会では8月の「大阪市の日」にも



万国博・終盤の花



コーラスや民踊 拍手を浴びた市婦協

「婦人大阪」昭和45年9月8日 第96号より

コーラスや民踊を披露していますが、開幕前の街の美化や海外を含めた来訪者へのアテンダントの指導などでも活躍しました。

6年後の2025年に、ふたたび大阪の地で万国博覧会が開催されることが決まりました。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」で、健康・長寿の実現を目指すとされ、大阪西部の夢洲を会場にして、約3,000万人の来場者が見込まれています。

会場となる夢洲の整備や市内中心部から会場までのアクセスの確保など、これから6年間に国や市、府、経済界として準備しなければならないことは少なくありませんが、多くの市民も一緒になって、大阪・関西を挙げて盛り上がるものにしたいものです。

日本の各地からの来阪者も多いでしょうが、今や博覧会国際事務局（BIE）に加盟する国は170に及ぶことから、大阪に来られる外国人観光客も多いことでしょう。半世紀前とはまた違った「おもてなし」ができるかもしれません。